

小学校プログラミング教育実施レポート

令和2年度から必修化された小学校プログラミング教育の実施の様子を紹介するものです。
未来の学びコンソーシアムにて実施内容の精査を行うものではありません。

学習活動名	プログラミングをしよう！
学年	小学校第3学年(男子1名・女子1名・計2名)
目標	プログラミングの目的や内容を理解し、パソコンやプログラミングの操作に慣れ親しむことができる。
教材タイプ	ビジュアル言語
使用教材	Scratch
環境	児童1人で1台の端末を使用
都道府県	徳島県
実施校	つるぎ町立太田小学校
学習活動の概要・児童の様子(プログラミングの活動を中心に記載ください。)	<p>1 「プログラミング」ってなあに？ これから学習するプログラミングについての概要や、「いつ」「何のために」「何を使って」「どのように」学ぶか等理解する。 低学年時において、パソコンを使う機会がほとんどなかった児童にとって、パソコンを操作することへの大きな期待感を表していた。</p> <p>2 パソコンの基本操作を知ろう！ 起動・終了の操作をはじめ、マウスを使った操作や簡単な入力の方法について学ぶ。 児童は、ケーブルを接続した従来のノート型パソコンと、wifi 環境下における新しいタブレット端末を一人に1台ずつ使用できる現状である。タブレット端末を中心に使用していく計画であるが、家庭において保護者のタブレットの操作に慣れている児童にとって、学校のパソコンの基本操作にもすぐ慣れることができた。</p> <p>3 「scratch」を知ろう！ NHK for school「whyプログラミング？」を視聴し、scratch で何ができるかを学ぶ。 この番組は、プログラミングを発達段階に応じて楽しく学ぶことができ子どもたちに人気である。番組で紹介されたプログラムを使って、児童自身の考えに沿ってプログラムにアレンジを加えていた。キャラクターやブロック、数値を変えることによって自分の思い描いたプログラムを組むことに意欲的であった。</p>
成果と課題	<ul style="list-style-type: none">パソコンの基本操作やプログラミングの第一段階に到達したレベルであるが、児童が意欲的に学び、プログラミングの習得も速いことが大きな成果であった。プログラミング教育の目標は、プログラミング的思考を育成することである。今後、年間指導計画に沿った学習が展開できるよう研究の必要がある。